「世界中はみんな兄弟姉妹、仲良くたすけあおう！」

2022 | 4
No.149

［フォーエーション］

FourAtion

【Four Ation】フォーエーションは、「４つの会〝Association Of 4〟」の造語です。

tenrikyo

「One world, One family」

ー　世界中の人間は一つの家族　たすけ合って困難を乗り越えよう　ー

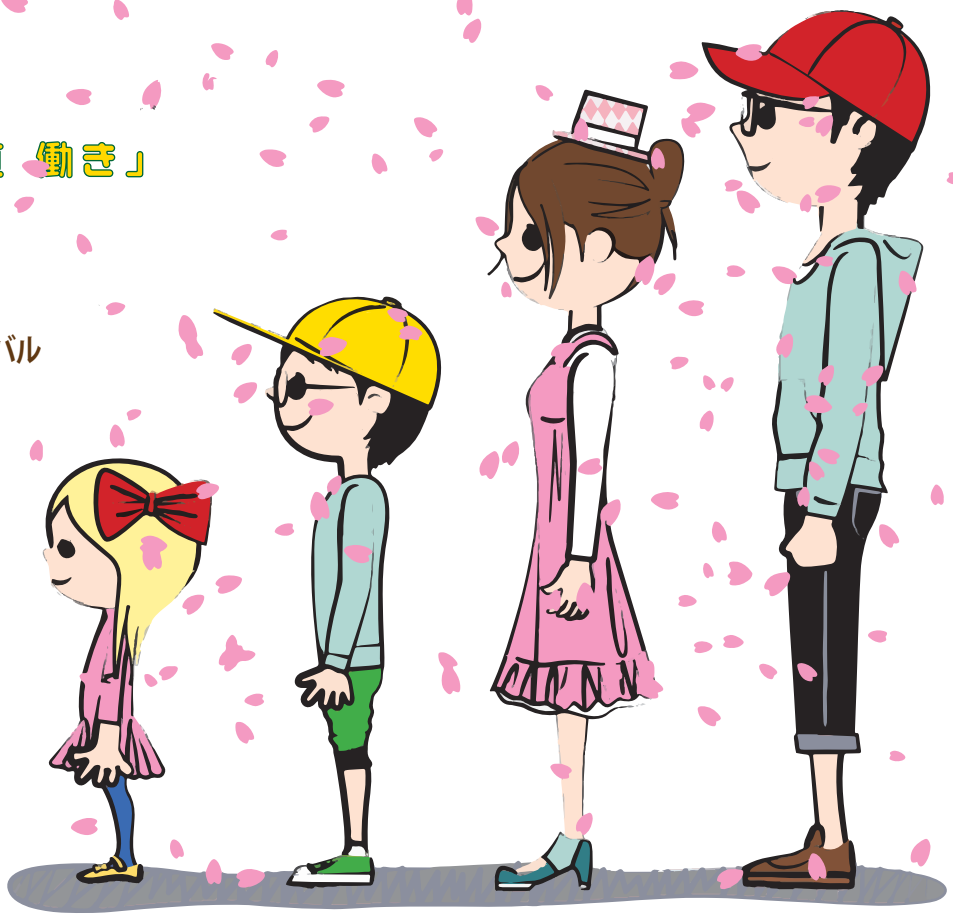
■ 青年会「TRY」
委員長あいさつ

■ 女子青年「こんぺい糖」
巻頭言　今月の一枚

■ 学生会「WAKIAI」

■ 少年会「朝起き　正直　働き」
埼玉教区団総会のおしらせ

■ Information
第 25 回鼓笛バンド文化フェスティバル
布教の家【埼玉寮】



埼玉教区ＨＰ
ここから！

Four Ation contact : fouration.edit@gmail.com

委員長挨拶

4月より、埼玉教区青年会委員長をつとめさせていただきます、鈴木康之と申します。3年間の任期となりますが、皆様方の御協力をいただき、精一杯つとめさせていただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、昨日ある支部の委員長さんから突然LINEが入りました。

「うちの支部に鈴木さんと連絡を取りたがっている会員さんがいるので連絡先を教えてもよろしいですか?」

という内容のものでした。断る理由もありませんし、埼玉県内に知り合いも多くはありませんので、相手の検討がつかぬまま、連絡を待っているとAさんという会員さんから連絡が入りました。Aさんの名前を聞いた時、私はすぐにピンときました。

今から3年前、自教会の近くの駅で布教をしていた時知り合ったBさんという方がおられました。Bさんが初めて教会に来られた時、参拝を勧めると、参拝の作法を知っている様子だったので不思議に思って話を聞いてみると、知り合いに天理教の方が居て、その方と一緒におぢばがえりをしたことがあると聞きました。さらに、色々な教会へ参拝した経験もおありで、たまたま電車を降りて会社に行く途中に私からチラシを受け取り、その時抱えていた悩みもあったため、教会に来させていただいたということでした。そのBさんの知り合いこそ、私と連絡を取りたがっていたAさんだったのです。

Bさんは仕事帰りに教会の夕づとめに来られるようになり、おぢばがえり、初席は運んでいただきましたが、職場が変わり、自宅が教会から遠いということもあって電話やメール、また時折おさがりを持っていく程度の繋がりとなってしまいました。昨年久しぶり連絡すると、大きな身上をいただかれたとのことでした。すぐに教会に来ていただき、おさづけの取り次ぎ、おぢばがえり、修養科を勧めるなどしてその日は別れました。そこからまたしばらく連絡が取れずにいて、昨日久しぶりに連絡をすると、私が連絡を取れずにいた約1年間、Aさんが教理を取り次ぎ、また親身に相談に乗るなど、丹精を続けてくださっていたのです。そして先日改めて私が、共通の知り合いを通してAさんと連絡を取り合うようになったことをBさんに伝えると、大変驚かれ、とても喜んでくださいました。

私は早速Aさんに、お互いの立場でBさんが御守護いただけるようつとめさせていただきましょうと伝え、4月には3人で会うことを約束しました。

私は今回教区の青年会の御用をつとめさせていただく直前に、このように同じ県内に住む会員さんと、共におたすけをさせていただく機会を頂戴して、改めて同じ地域の教友同士の繋がりの大切さ、また頼もしさを感じたのであります。

本年、埼玉教区は創立90周年を迎え、さらに来年には教祖140年祭の年祭活動がスタートする年を迎えます。教区長先生からは「にをいがけ、おたすけのできる人材の育成を」と聞かせていただきます。この旬に、埼玉教区青年会の会員が一手一つにそれぞれの立場でできるにをいがけ、おたすけに励み、切磋琢磨しながら一歩でも二歩でも成人することのできるよう活動をすすめていきたいと思います。皆様方のお力添え、どうぞよろしくお願い申し上げます。

埼玉教区青年会委員長　鈴木康之

婦人会　女子青年

埼玉教区婦人会女子青年

立教185年
4月号

こんぺい糖

巻頭言

少しずつ暖かくなってきて、春を感じられる季節になりましたね。皆さんいかがお過ごしでしょうか。

私は先日鼓笛バンドフェスティバルの受付ひのきしんに参加させて頂きました。久しぶりに天理教の行事に参加できたこと、コロナ禍の中でもたくさんの方にご来場頂けたことが、とても嬉しいなと感じました。私もパフォーマンスを少し観に行かせて頂きましたが、このコロナ禍で練習もままならないはずなのに、みんな一つになっていて、とても感動しました。また、フィナーレではたくさんの方々が笑顔になっている光景を見て、音楽のちからってすごいなと改めて感じることができました。

まだまだコロナは収まっておりませんが、自分にできることを考えて、行動して、笑顔を増やして行けたらいいなと思います！コロナに負けず、頑張りましょう！

昼間智美

今月の１枚

3 月生まれの母と姪と私の合同誕生日パーティーをしました🎂おいしい料理とケーキを食べながら、家族で過ごす時間はとても楽しかったです。小さい頃は、誕生日というとお祝いしてもらうものと思っていましたが、最近は感謝する日だと思うようになりました。歳を重ねることができるのは、親神様、教祖はもちろんのこと、今まで支えてくれた、両親やまわりのみんなのおかげです。普段なかなか言葉にできない、感謝の気持ちも誕生日の時はちゃんと伝えていきたいと思います！

濵口みなみ

❀鼓笛バンド文化フェスティバル受付ひのきしん❀

３月１３日鼓笛バンド文化フェスティバルにて、
受付ひのきしんをさせて頂きました。
検温・消毒を担当させて頂き、感染対策バッチリでご来場のみなさんをお出迎えしました★
久しぶりの女子青年の活動ができとてもうれしく、みんなで明るく楽しくひのきしんさせて頂きました★

布教の家 埼玉寮

炎天下一匹の蟻

題字：初代寮長 菅 徳郎 著

この春、布教の家38期生が卒寮しました。一年間通られた感想を掲載させて頂きます。

38期 田中 真道（此花）

布教の家に来させて頂き、一年が過ぎました。振り返れば、あっという間に過ぎ去った時間でした。にをいがけ・おたすけ、おさづけの取り次ぎを中心とした毎日を過ごさせて頂きましたが、歩けば歩いただけ新しい出会い、発見があり、時には楽しく、時にはどうしようもなく情けない思いをさせて頂いたおかげで、自分の心がまた一つ、成人させて頂けたように思います。

布教の家に来てよかったと思う事は、改めて自分を見直すことができたことだと思います。たくさんの方々に出会わせて頂き、関わりを持たせて頂く中で、自分の長所や、見直すべき所はもちろん、おたすけ人としての心遣い、神一条の精神、お道で生きていくことの覚悟を持つことができました。

自分の心がまた一つ成人させて頂けたように思います

それに加え、親神様、教祖の寛大な親心はもとより、親々が見守ってくれていることの温かさ、有難さをとても強く感じました。当たり前ですが、親々がいなければ自分は存在していません。親神様の御守護がなければ人間は存在していません。この親々に喜んで頂くということが、生きていくうえで大切なことであり、陽気ぐらしへとつながっていく生き方であると強く感じました。

この一年で学んだことは本当に尊いことばかりでした。こうして布教の勉強に専念させて頂ける時間を与えてくださったすべての親々に、心から感謝をしています。ありがとうございます。

四月からは、単独布教と銘打って、仕切って、三カ月間埼玉に残り、さらに信仰を求めて勉強をさせて頂きます。親神様、教祖に喜んで使って頂けるようぼくへと、少しでも成人させて頂けるように、楽しんでつとめさせて頂きたいと思います。

おたすけ人としての心遣い、神一条の精神、お道で生きていくことの覚悟を持つことができました

帰参者をお連れして本部神殿前にて

第25回 鼓笛バンド文化フェスティバル

育成部

3月13日（日）、晴天の御守護の中、第25回埼玉教区鼓笛バンド文化フェスティバルは、国・埼玉県・春日部市のイベント実施要項に基づき、新型コロナウィルスの感染防止対策を講じた上で開催され、来場者910名、ライブ配信視聴1100名以上、計2010名以上のご観覧・ご視聴を頂き、会場からも、ご家庭からも、また各地からも温かい声援に包まれる中に開催されました。

当日は、天理教少年会本部副委員長 植谷朋彦先生の御来場を賜り、ユーモアを交えながら一手一つの意義と育成活動の大切さ、開催に際しての埼玉教区活動の並々ならない努力に対しての御礼の御祝辞・御総評を頂きました。その後計13団体の熱のこもった演奏演技。フィナーレには講評でお越し下された平井義克先生監修のドラムライン演奏。世界で活躍された平井先生のスネアドラムパフォーマンスを披露下さいました。その後、少年会員による御礼のスピーチとSLB（埼玉リーダーズバンド）によるこどもおぢばがえりイメージソング「ありがとう！夏のおぢば」が演奏され、会場は万感の拍手に包まれました。

今年は1月頃より新型コロナウイルスの感染が急拡大し、直前まで鼓笛活動が制限される中、各隊共に今できる事を模索しながら、フェスティバルの舞台を目標に、全隊が心一つに動きを止めずに活動を継続してきました。舞台に立った感動と喜び、そして大きな拍手は、必ずや一生心に刻みこまれる心の財産となったに違いありません。これからも「道と社会に貢献する人材の育成」を目指して埼玉教区の諸活動は動いていきます。どうか今後とも皆様のお力添えをよろしくお願い致します。

FourAtion
二〇二二年四月二日発行
四月号　No.149

〒331-0814　埼玉県さいたま市北区東大成町一丁目六五四番地
Tel:048-663-0444/Fax:048-663-0430　e-mail:fouration.edit@gmail.com

発行元　四会通信誌編集委員会

立教１８５年　天理教少年会埼玉教区団総会

□開催日：４月３０日（土）

午後１２時３０分　受付

午後１時　　第１部　まなびづとめ
　　第２部　式典
　　・はじめのことば
　　・少年会長様御告辞
　　・西田委員長御祝辞
　　・教区長御祝辞
　　・団長挨拶
　　・少ひ隊結成５０周年メモリアル DVD
　　・少年会員のちかい
　　・こどもおぢばがえりソング『ありがとう！夏のおぢば』
　　・『少年会の歌』合唱
　　・おわりのことば
　　・来賓退場
　　第３部　アートバルーン体験
　　第４部　サンライズストーリー
　　第５部　お楽しみ抽選会

午後４時　参拝・解散

※総会当日に新型コロナウイルス感染蔓延防止措置が発令になった場合は総会中止。

※次号５月号／　No.150　5月3日発行